

まちの話題



図書館新春開館イベント

富士見町図書館では1月4日、新年をみんなで祝おうと新春特別企画として、餅つき大会、琴の生演奏、クラフト教室、おはなし会、かるた取り大会など多彩なイベントを開催しました。

琴の演奏は茅野市在住の帯川雅雪華さんが着物姿で「六段の調」など新春にちなんだ曲を奏でていました。

バックに描かれている「義誠」という書は新年カウントダウンイベントで樋口卓道さんが書かれたもので「正義を守り誠実なこと」を意味し、去年は「災」の多い年であった。特に政界、企業の不祥事は目に余るものがあった。国民を裏切ることなく真摯に取り組んでほしいという願いを込めて書かれたものです。

500万人トーチラン INふじみ

平成17年2月に長野県で開催される知的障害者のスポーツ大会「スペシャルオリンピックス(SO)」冬季世界大会に向けて、12月19日に「500万人トーチラン INふじみ」が開催されました。

トーチラン(聖火リレー)はSO冬季世界大会を一人でも多くの皆さんに知っていただき、盛り上げて頂くために全国で行われているもので、トーチを持っている主役は障害のある方で、午前中は富士見駅周辺を10区間に分け、午後は信濃境駅周辺の6区間を障害者、健常者、大人、子供、みんなでゆっくり走りながら聖火をつなぎました。

障害者の皆さんと交流する場がなかった折、いっしょに参加してみて、偏見のない心がひとつになった思いがしました。



分団長による祝い放水



きびきびした規律で富士見駅まで分列行進をしました

出初式

1月9日、早朝より町消防団による出初式が役場前駐車場で行われました。団員318名が参加し、観閲、機械点検、第1、第3分団によるはしご乗りが行われ、1年間の無火災、無災害を祈願しました。

分団長会は昔3分団で使っていたオープン式ポンプ車で炎に仮装した団員めがけ、祝い放水をしました。その後、富士見駅まで分列行進をし、町民センターで個人、団体の表彰式を行いました。



手に汗を握るような、はしご乗りでした